



追加型投信 / 国内 / 株式

ファンド情報提供資料 /
データ基準日: 2016年11月30日

Jオープン (店頭・小型株) 当ファンドの足下の状況と 継続的な利益成長が期待される中堅企業について

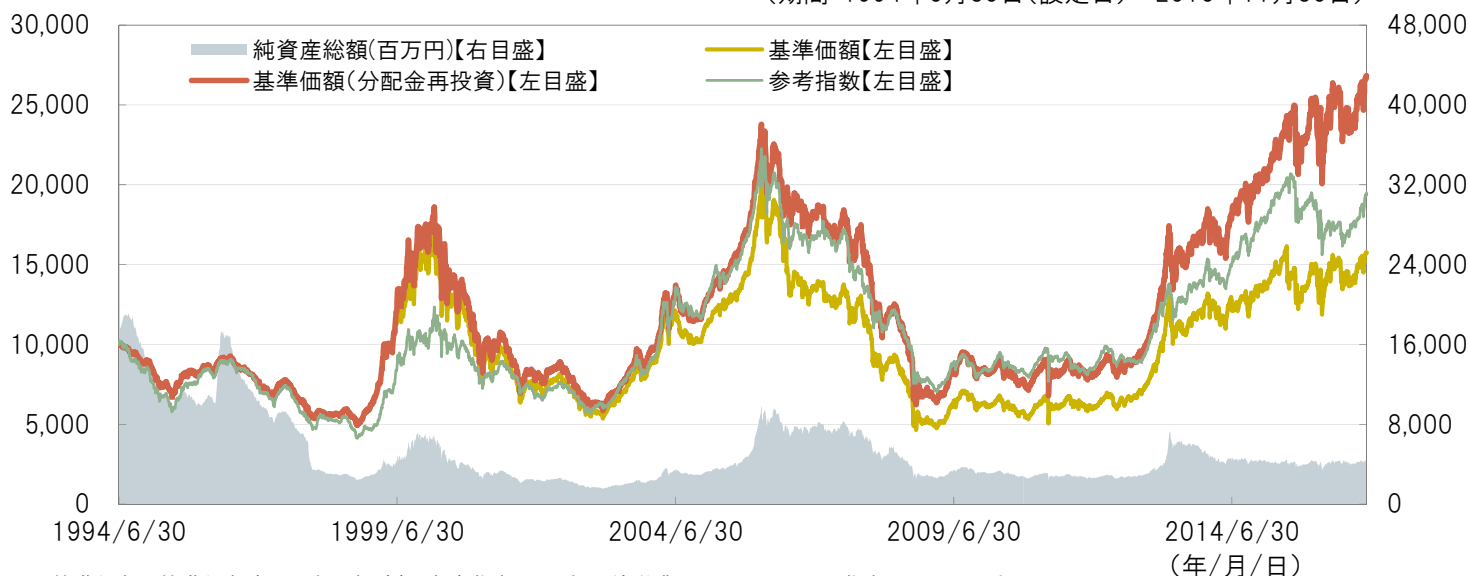
平素は「Jオープン(店頭・小型株)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

日本の株式市場は、社外取締役の選任を促すなどの企業統治改革の進展や、人手不足による賃金上昇や人材投資への積極化、財政・金融政策による株価の押し上げ効果などが引き続き期待され、日本株の魅力度は相対的に高いと考えています。

そこで、本レポートでは、当ファンドの基準価額等の推移などに加え、特色と当ファンドにおける投資のイメージ、組入上位5銘柄についてご案内申し上げます。今後も引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

設定来の当ファンドの基準価額等の推移

(期間: 1994年6月30日(設定日)~2016年11月30日)



- ・ 基準価額、基準価額(分配金再投資)、参考指数は設定日前営業日を10,000として指数化しています。
- ・ 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・ 信託報酬率については、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。

参考指数は東証二部株価指数です。

東証二部株価指数とは、東京証券取引所第二部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、東京証券取引所第二部市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。

期間別騰落率(2016年11月30日現在)

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.40%	12.04%	2.77%	8.56%	59.17%	168.16%
参考指数	3.78%	10.62%	10.21%	1.16%	39.75%	94.72%
差	-2.38%	1.42%	-7.44%	7.39%	19.42%	73.43%

- ・ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・ 設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■ 上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

Jオープン（店頭・小型株）

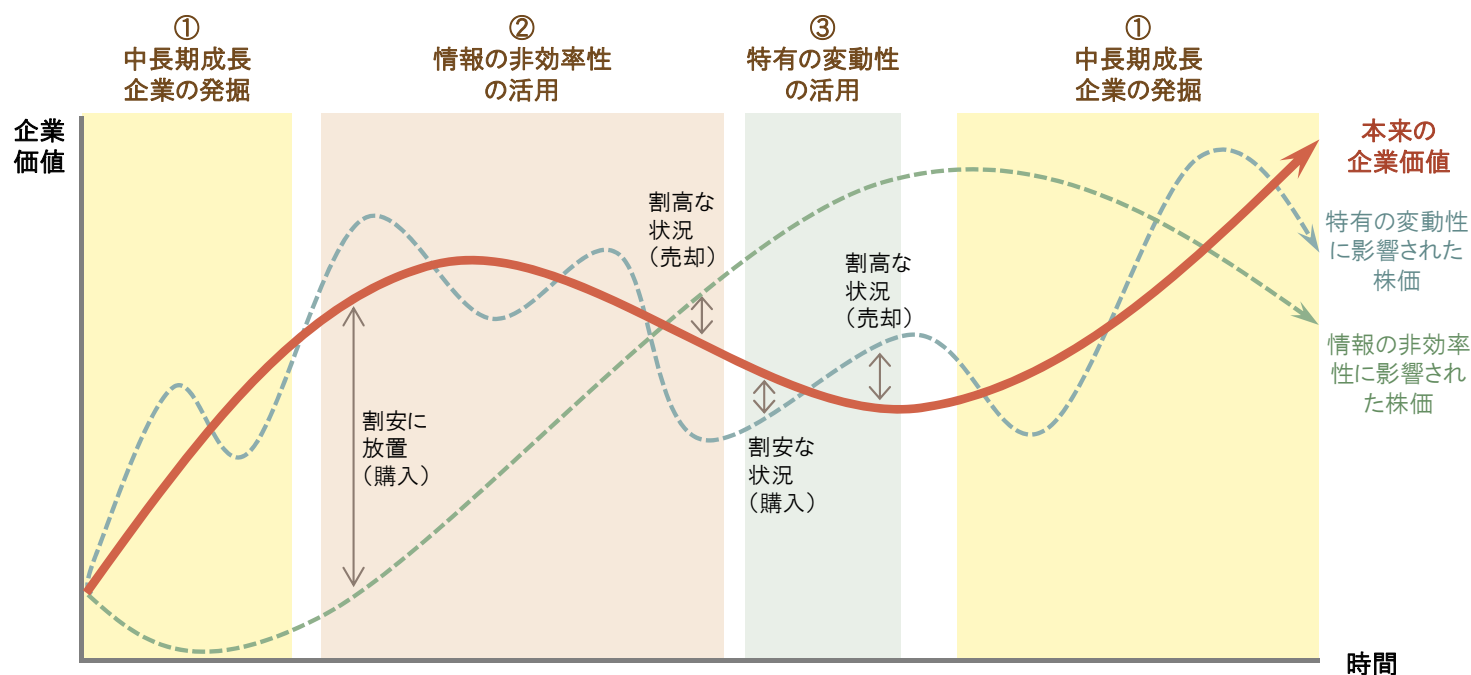
当ファンドの特色

- 1 わが国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、小型株を主要投資対象とします。
- 2 独自のサービス・技術等を持つわが国の中堅企業の中から、今後一段の成長が期待される銘柄を選定して投資し、信託財産の積極的な成長をめざします。
- 3 銘柄選定にあたっては、個別企業の事業内容、将来性、業績等の調査・分析を企業訪問を中心に綿密に行い、その中から有望銘柄を選定する方法をとります。

※市況動向および資金動向により、上記のような運用が行えない場合があります。

小型株の特性と当ファンドにおける投資のイメージ

小型株市場は、業績の高成長が期待される企業(①)も多く存在している一方で、②情報の非効率性(調査しているアナリストや報道発表が少ない)や③特有の変動性(短期的な業績・低流動性による株価の大きな変動)といった特性が挙げられます。大きく利益を得られる機会がある一方で、注意を払いながらの投資判断が求められます。当ファンドは、質の高いサービスや高い技術など独自の競争力を持ち、好業績が期待されているにもかかわらず、市場に十分に認知されずに割安に放置されている企業を中心に投資しています。2016年11月末現在の組入銘柄数は83銘柄です。



・上記は小型株の特性と当ファンドにおける投資のイメージを簡易的に表すための図であり、実際の結果とは異なります。

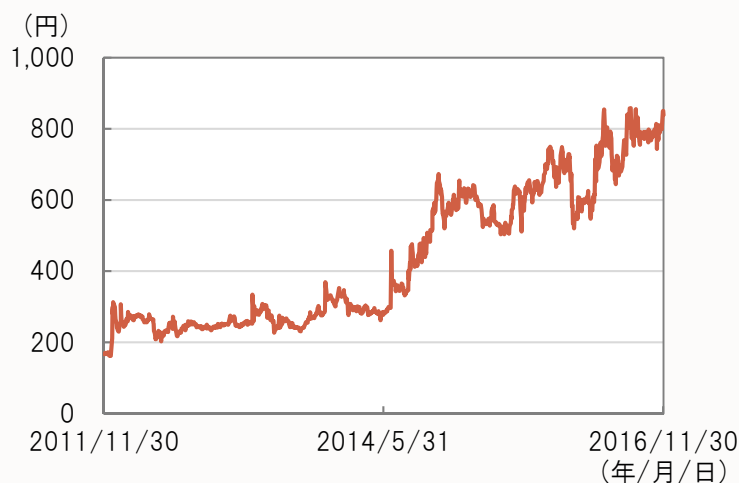
■上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

Jオープン (店頭・小型株)

当ファンドの組入上位5銘柄のご紹介(2016年11月30日現在)

(期間: 2011年11月30日～2016年11月30日)

日本エム・ディ・エム(7600) 業種: 卸売業



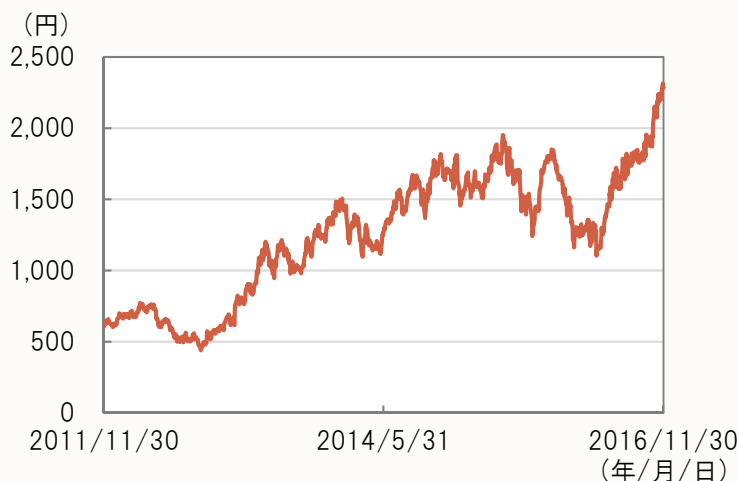
【企業概要】

整形外科を中心に手術で使われる人工関節、骨接合材料を手がける。以前は専門商社だったが、近年は安定供給を目的に米国子会社を中心に自社製品を展開。

【投資のポイント】

人工関節、骨接合材料は高齢化を背景に市場拡大。国内だけでなく米国東・西海岸地域での売上拡大中。加えて自社製品比率上昇で収益性が向上。開発した人工股関節新製品は、2016年5月に米国および日本国内で薬事承認。

日立国際電気(6756) 業種: 電気機器



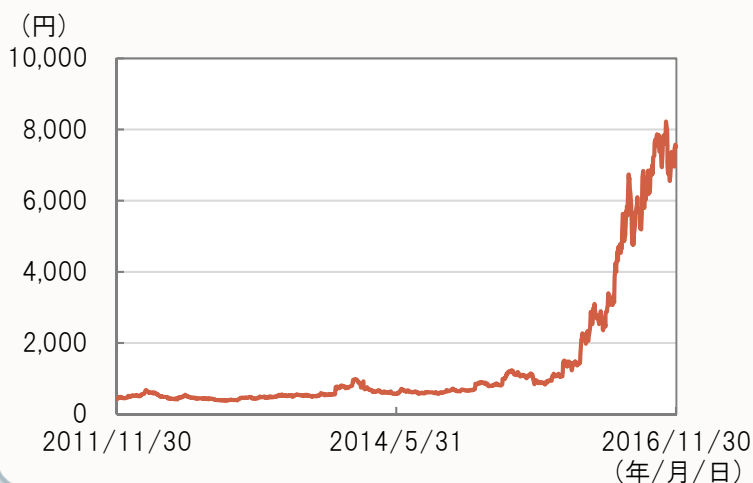
【企業概要】

日立系で半導体製造装置、各種映像・無線システムなどを手がける。半導体製造装置はシリコンウエハに何層もの薄い膜を形成する成膜処理装置に強み。

【投資のポイント】

半導体メーカーの投資拡大が続き、同社製製造装置も需要が拡大。加えて3次元構造メモリなど新技術に対応した成膜技術を持っており、高い競争優位性を持つ。映像・無線システムの採算改善加わり、利益拡大局面へ。

平田機工(6258) 業種: 機械



【企業概要】

自動車、半導体など各種生産設備を手がける。海外自動車メーカー向け、有機ELディスプレイ生産設備に強み。またダイソン社に家電用各種モーターを供給、高いブランド力を支える。

【投資のポイント】

自動車生産設備は低燃費エンジン生産用など海外からの受注が拡大。また、有機EL向けは高水準の受注継続。最近では電気自動車生産設備を初受注。高水準の受注残が今後の売上利益に貢献。

・業種は、東証33業種による分類です。

・上記は基準日時点での当ファンドの組入上位5銘柄をご紹介するために掲載したものであり、上記銘柄の購入を推奨するものではありません。また、これらの銘柄が今後も当ファンドに組み入れ続けられるとは限りません。

(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

Jオープン（店頭・小型株）

当ファンドの組入上位5銘柄のご紹介(2016年11月30日現在)

(期間:2011年11月30日～2016年11月30日)

東京精密(7729)

業種:精密機器



【企業概要】

事業は半導体製造装置と精密計測機器の2本柱、ともに精密位置決め、精密測定の高い技術力を背景に事業を拡大。半導体製造装置はプローバと呼ばれる検査装置で世界シェア高い。

【投資のポイント】

着目したのは半導体製造装置。市場の拡大だけでなく、3次元構造メモリなど新技術に必要なウエハを薄く削る工程において同社のグラインダと呼ばれる装置など需要拡大を期待。

竹内製作所(6432)

業種:機械



【企業概要】

ミニショベル、油圧ショベルなど土木建設機械メーカー。1971年に世界で初めてミニショベルを開発。売上の多くは海外中心でミニショベルシェアはEUで2位、北米で4位と高い。

【投資のポイント】

売上の中心は海外ながら主力製品のほとんどを国内生産することで耐久性や安定性など高品質を維持し、ユーザーの高い評価につながっている。土石などを積み上げて運ぶクローラーローダーと呼ばれる新製品も拡大。

・業種は、東証33業種による分類です。

・上記は基準日時点での当ファンドの組入上位5銘柄をご紹介するために掲載したものであり、上記銘柄の購入を推奨するものではありません。また、これらの銘柄が今後も当ファンドに組み入れ続けられるとは限りません。

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

Jオープン(店頭・小型株)

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

わが国の金融商品取引所に上場されている小型株を主要投資対象とし、独自のサービス・技術等を持つわが国の中堅企業の中から、今後一段の成長が期待される銘柄を選定して投資し、積極的な値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

特色1 わが国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、小型株を主要投資対象とします。

特色2 独自のサービス・技術等を持つわが国の中堅企業の中から、今後一段の成長が期待される銘柄を選定して投資し、信託財産の積極的な成長をめざします。

特色3 銘柄選定にあたっては、個別企業の事業内容、将来性、業績等の調査・分析を企業訪問を中心に綿密に行い、その中から有望銘柄を選定する方法をとります。

■分配方針

- ・年1回の決算時(6月29日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

ファンドは、小型株を主要投資対象としているため、大型株への投資を行う場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

Jオープン(店頭・小型株)

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位(ただし、1万口を上回らないものとします。)／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	2019年7月1日まで(1994年6月30日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年6月29日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.24%(税抜 3%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率1.3176%(税抜 年率1.22%)**をかけた額

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会: 一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <http://www.am.mufg.jp/>
<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034
(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

ファンド名称: Jオープン(店頭・小型株)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社 イオン銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社 池田泉州銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第6号	○		○	
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第370号	○			
今村証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第3号	○			
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第35号	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
SMBCフレンド証券株式会社(*)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第40号	○			
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第169号	○			
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○		○	
キャピタル・パートナーズ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第62号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	○			
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第114号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
株式会社 鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第3号	○			
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号	○			
日産証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第131号	○		○	
ばんせい証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第148号	○		○	
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号	○			
ひろぎんウツミ屋証券株式会社(*)	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第20号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号	○			
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○	○		
豊証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第21号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

※商号欄に(*)の表示がある場合、新規申込のお取扱いを中止しております。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。